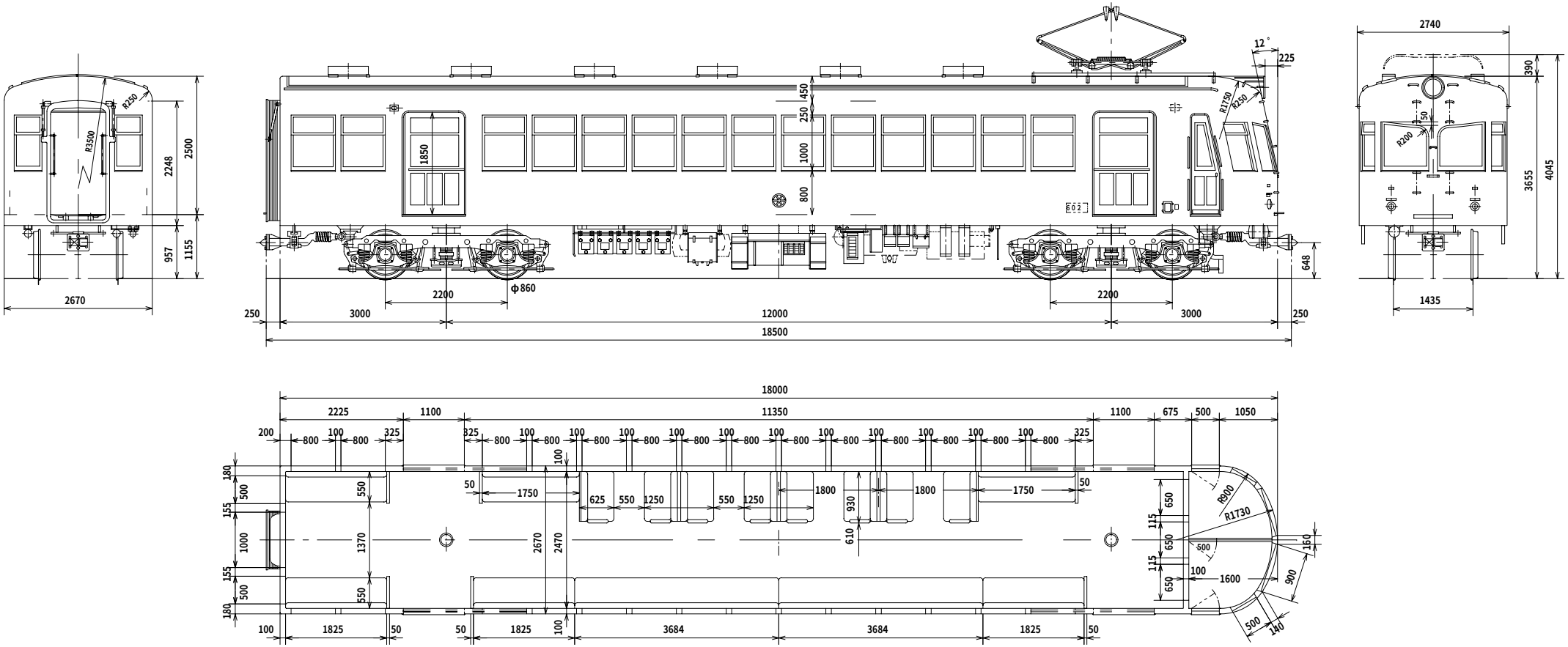
西日本鉄道　モ600形　形式図

1951年近畿車輛が製造した流線型電車
この時点で西鉄は他社に先駆けて中間電動車を採用し、モ600、モ610、ク650の3輌編成でデビュー
図はその内のモ600で、ク600も同車体である
平面図は計画当初のクロスシート付きと、就役当時のロングシートの両方を示した
台車はFS-8、2編成製造
なおこのグループは改番、改造で消滅した